

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
420013	X-33/13-B-3-420013						
授業科目	担当教員						
情報プロジェクト特論／情報システム特論	西山 茂	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	× × × × 専門 専門 専門	× × × × 必修 選択 必修	× × × × 3年 3年 3年

授業目的

(1) 現実の社会状況に対する知見を広げるため、産官学等社会で活躍している方を講師に招き、講師の業務分野等のトピックをお話しして頂く。また、当該分野でのICT利用方法等について学ぶ。

(2) 現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する：履修生自身が組織・運営する複数のチーム（プロジェクト）を編成する。各プロジェクトは役割分担を含む組織構成を決め、問題・課題（目標）設定、スケジュール設定を行い、進捗管理・成果管理法を決め、文書化する。計画に対する進捗を管理しながら活動し、目的達成を図る。15回目の授業でプロジェクト活動成果を報告する。

本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。

<仕事の仕組みをシステム的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。>

<自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表する力があること。>

各回の授業内容

第1回	【授】 授業オリエンテーション 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習2時間、復習2時間）	【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前2時間、事後2時間行うこと
第2回	【授】 外部講師による講義1 「プロジェクト管理技術」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習2時間、復習2時間）	【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前2時間、事後2時間行うこと
第3回	【授】 外部講師による講義2 「政府・自治体等の政策・動向」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習2時間、復習2時間）	【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前2時間、事後2時間行うこと
第4回	【授】 外部講師による講義3 「社会状況、ICT動向等」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習2時間、復習2時間）	【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、中間成果の整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前2時間、事後2時間行うこと
第5回	【授】 外部講師による講義4 「社会状況、ICT動向等」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習2時間、復習2時間）	【授】 プロジェクト活動 目的達成のための活動、成果の最終整理、進捗管理 【前・後】 プロジェクト活動を事前2時間、事後2時間行うこと
第6回	【授】 外部講師による講義5 「社会状況、ICT動向等」に関する講義 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習2時間、復習2時間）	【授】 プロジェクト活動 成果報告資料作成 【前・後】 成果報告に向けて、プロジェクト内議論、成果資料作成を事前、事後2時間行うこと
第7回	【授】 プロジェクト編成 キックオフ、課題の大枠、プロジェクト内役割分担（組織）の設定 【前・後】 事前配布資料による予習・復習（予習2時間、復習2時間）	【授】 プロジェクト活動 成果発表 【前・後】 プロジェクト報告のため、発表練習を2時間、事後整理を2時間行うこと
第8回	【授】 プロジェクト活動 プロジェクト計画書策定、計画書レビュー、目的達成のための活動 【前・後】 プロジェクト計画書策定、計画書レビューのために事前予習2時間、事後2時間を充てる	【授】 講評とまとめ 試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する 【前・後】 プロジェクト報告のため、発表練習を2時間、事後整理を2時間行うこと

成績評価方法

試験は実施しない。日々の活動及び成果報告を評価する。

- 外部講師講義受講アンケート及び講義受講レポート提出（各回の講義内容の要点と所感）（5回）：35%
- プロジェクト計画書：10%、プロジェクト成果発表：40%
- 活動態度：10%、及び履修生個々に行う報告時の他プロジェクト評価：5%
- プロジェクト活動は必須である。プロジェクト評価を個人成績に反映する。プロジェクトメンバーに登録してもプロジェクト活動（集団活動）に貢献しなかった者は評価しない。

<フィードバック法>

- プロジェクトの進捗、方向性については、毎時間各プロジェクトのリーダに発表させ、その場で教員が講評する。
- プロジェクト報告については、全報告終了後、時間内に教員が講評する。

教科書・参考書

- 教科書はない。毎回、講義スライドのコピーを配布する（HPやCampusmate等の電子的手段）ほか、必要があれば次回講義に関連するURL等を紹介する。

- 各種白書（情報化白書、情報通信白書、情報サービス産業白書、等）、@IT、日経BP等の情報サイト

受講に当たっての留意事項

- 外部講師講義では積極的質問すること。
- 講義情報、受講レポート、プロジェクトチーム活動は、Campusmate等電子的手段を活用する。
- 授業時間の外に、レポート作成やプロジェクト活動にある程度の時間をかける必要がある。
- 外部講師講義のテーマ及び授業順序は入れ替わることがある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
○	担当教員は、企業の研究開発部門および営業部門、自治体の情報企画部門で実務経験がある。	○

学習到達目標

- 5つの講義テーマ関連領域についての最新の知識を獲得し、その要点を説明できる。（受講アンケートと受講レポートの提出：35%）
- プロジェクトチーム活動を通じて、与えられた制約下での業務の進め方、リーダ役実践によるチームまとめ能力、チーム活動手法などを習得する。（プロジェクトチーム活動及び成果報告：65%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：F、G

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習